

報 告 書

開催日時	平成 24 年 5 月 14 日 ( 月 ) 7 時 ~ 8 時 30 分	
開催場所	竹駒コミセン	
出席議員	挨拶 菅野 稔 班長	
	司会進行	大坪涼子
	報告者	佐藤信一
	記録者	鶴浦昌也
	出席議員	千田勝治、大坂 俊
参加人数	19 名	市職員 4 名 東海新報社
主な要望 ・提言等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陸前高田市の復興に向けたまちづくりのイメージが見えない。 市や市議会の考え方がわからない。イメージがわからないため市民がどう動いたらいいのかわからない。</li> <li>2. 放射能の問題で、市はどのように調べているのか。山菜など、どこの山のものを食べていいのか、悪いのか、場所を特定して欲しい。 市民が調べてもらうためにはどこに持っていけばいいのか。</li> <li>3. 高台移転や街の形成について、市が「ここに団地をつくるから」「ここに街をつくるから」と先導して欲しい。</li> <li>4. 道路がどのように拡幅されるのかわからないと、自分の土地の利用に見通しが付かない、早期に拡幅の計画を示して欲しい。</li> <li>5. 防災集団移転で市内に 21 の協議会が発足したと聞くが、その進捗状況はどうか。なかなか進んでいないことがあるなら、その理由を示して欲しい。地主との交渉などについて、被災者が行うのは大変で、市が行うべきではないか。</li> <li>6. 「防災集団移転では時間がかかる」ということで、自立再建を目指している人が地主の了解を得て 15 区画ぐらいの造成を計画している。市は「水道については支援する」というが、「道路については支援できない」と言われた。どうにかならぬのか。</li> <li>7. 災害公営住宅について、市長は「鉄筋コンクリートの 5 階建て」と説明している。議員からは「木造で」という提言もあるが、市長は「不公平感がある」としている。高齢者が鉄筋コンクリートの住宅に入ると、孤独になってしまうのではないか。やはり木造にし、暮らしている人の顔が見える住宅にすべき。 市は「土地がない」というが、探せばありそうに思う。</li> <li>8. 高台に行きたくても、今泉には土地がなくて行けない。</li> <li>9. 高台移転する際、工事費が多くかかる場所は「だめ」ということがあ</li> </ol>	

	<p>るのか。</p> <p>10. 議会報告会の日程を見ると、今泉地区が抜けている。是非今泉地区でも開催して欲しい。</p> <p>11. 高台移転への意向調査は何度でもやって欲しい。時間とともに被災者の気持ちが変わっていく。</p> <p>12. 移転先の地権者から土地を譲って貰う許可を得ているが、坪単価が分からない。早く示して欲しい。</p> <p>13. 高台移転する際の協議会設立という話はいつ出てきたのか。</p> <p>14. 高台移転を進めるより、市が高田町の鳴石団地のような住宅団地を整備したほうが早いのではないか。それを望んでいる市民は多いと思う。</p> <p>15. 市のガレキ処理について、分別作業は釘の一本一本にわたって行われているというが、そのようなことまで税金を使わなくてもいいのではないか。適した処理方法でやっているのか疑問。</p> <p>16. 市の焼却炉にガレキは持ち込みできない。畑などから出るガレキの処理に困っている。</p> <p>17. 竹駒小はグラウンドもない、体育館も使用できない。体育館はいつごろ直るのか。子どもたちが運動できる場所を設けて欲しい。</p> <p>18. 消防の屯所がカビだらけで衛生上よくなく、改善して欲しい。</p> <p>19. 浸水地のかさ上げについて、土はどこから持ってくるのか。土を削った場所は高台移転先になるのか。</p> <p>20. 防災無線について、聞き取りにくい場所があり、対応して欲しい。</p> <p>21. 復興が遅く感じている。人口が流出し、企業も流失している。スピードを上げて復興を進めるため、市当局にはっぱをかけてほしい。</p>
<p>所 感</p>	<p><b>菅野 稔</b></p> <p>ほとんどの方が仮設住宅に入居している方々で、防災集団高台移転等の意見要望があり、早期復興が求められていると感じた。</p> <p><b>大坂 俊</b></p> <p>議会への質問と言うより、行政に対しての質問が多いように思われた。竹駒地区の仮設店舗の乱立状況を見るに付け、早期の街づくりの指針が必要と痛感した。</p> <p><b>佐藤信一</b></p> <p>市の復興に向けたまちづくりのイメージが見えない、市議会の考え方も分からない等の指摘があった。また、被災者の気持ちが変わっていくので、意向調査も何度でもやって欲しい等の要望が出された。もっと被災者の方々に身近な施策を進めていく必要があると感じた。</p> <p><b>大坪涼子</b></p> <p>協議会の立ち上げがどうやってすればよいのか分からない、また、進</p>

捗状況など明らかに見えないことに不安があることを感じた。

**鵜浦昌也**

本市の復興にスピード感のなさを感じている指摘があった。やはり市民の目に見えるよう復興事業を促進させていくことが必要と感じた。

**千田勝治**

高台移転先は未決定であり集団移転の協議会つくりのあり方の情報不足と、竹駒地内の R340 の復旧工事の計画情報の早期の提示を求める意見が多く感じられた。

陸前高田市議会議長 殿

平成 24 年 5 月 31 日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第 10 条第 1 項の規定により提出します。

平成 24 年度議会報告会 2 班

班 長 菅 野 稔 (印)